

# としよだより

平成 27年 11月 6日

いわみみなみしょうがっこう図書館

校内読書推進月間のメイン行事の一つでもあるブックワールド集会在、11月4日に行われました。11月1日に行われた「読書フォーラム2015inいわみ」において、読書の実践発表をしたK・Hさんの作文発表、そして図書委員会による新しい本の紹介とその本にまつわるクイズ、さらにブックメイトさんによる読み聞かせがありました。

ブックメイトのみなさんには、『にじいろのはな』の読み聞かせをしていただき、全校児童がじっと聞き入っていました。にじいろのはなの優しさが、南小の子ども達にも伝わったことと思います。ブックメイトのみなさん、ありがとうございました。

## ブックワールド集會

しゅうかい

【作文発表】



【図書委員会の本の紹介】



【読み聞かせ】

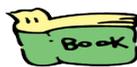


【ブックメイトさん  
ありがとうございました】



十月の読書ゆうびん、

まだの人は待っていますよ！



## あたらしい本の紹介



ブックワールド集会で図書委員会が紹介した本です。昨日より貸し出しを始めており、どの本も人気です。

- ・「かいけつゾロリの対決！ブルル・コブル200連発！」 ポプラ社
- ・「かいけつゾロリのめいろ&パズル200連発！」 ポプラ社
- ・「男子☆弁当部」シリーズ（5冊） ポプラ社
- ・「天山の巫女ソニン」シリーズ（7冊） 講談社
- ・「コミック版 日本の歴史」第8期（5冊） ポプラ社
- ・「これってどうちがうの!？」シリーズ（3冊） フレーベル館



# 子ども読書フォーラム2015 in いわみ

## ～家庭読書の取り組み発表～

さる11月1日、中央公民館で「子ども読書フォーラム2015 in いわみ」が開催され、本校の6年K・Hさんとお母さんが家庭読書の取り組みを発表されました。ここにその時のHさんの作文を紹介します。

### 「読書を通して思うこと」

六年 K・H

私は、本が大好きです。六年生になってからは、絵の少ない文章だけの物語を、よく読むようになりました。文字が多い方が、景色とかストーリーを想像しながら読めるので、とてもおもしろいです。宿題が終わってから読むことが多いですが、読み出すと集中して、まわりの声が聞こえなくなるので、しかられてしまうこともよくあります。

そんな中で、私が一番心に残っている本は「ハリー・ポッター」シリーズです。

映画は見たことがあるけど、本では読んだことがありませんでした。でも、友達が読んでいるのを見て、私も少し読んでみようかなと思い、読んでみました。この本は、一冊がとっても長いし、ストーリーもむずかしいです。魔法を使ったり不思議なことが起きたりして、現実ではありえないことがたくさんあります。だから、とてもわくわく、ときどきしながら、お話の世界に引き込まれていきました。この本に書いてある魔法は、練習していけば、自分でも本当に使えるような気がしてくるところも、お気に入りです。また、一巻ずついろいろな謎がとけ明かされていくので、すぐに続きが読みたくなりました。

この本を読み終わった後、私は、主人公ハリー・ポッターが、仲間といっしょにいろいろなことを乗り越えていくところが、すばらしいと思いました。私も、ハリー・ポッターのようにいろいろな事にチャレンジしていきたいと思いました。

私には、もう一つ、読書を楽しむ方法があります。それは、親子読書や読書ゆうびんで、家族の人と本を通してふれあう方法です。

毎月ある読書ゆうびんでは、自分の好きな本や心に残った本を家族の人に紹介できます。

私は、書くことが好きだし、本も紹介できるので、毎月どの本のことを書こうかと楽しみにしています。私はお母さんへ読書ゆうびんを出しますが、お母さんからの「お母さんも読んでみたいなあ。」とか、「アメリカ・イヤハートのようにがんばっている女性がいることを初めて知った。」などの返事をかいてもらうとうれしくなれます。また、親子読書の本をいっしょに選ぶのも楽しいです。

読書は、自分がまだ知らない世界や事柄を知ることができるので、大切だと思います。そして、友達と外などで遊ぶのもいいですが、自分の好きな本を読んで、少し現実逃避して心を休めるのも大事だと思います。

私には、まだまだ知らない本がたくさんあります。これからも、楽しみながら、どんどんたくさん本を読んでいきたいです。

